

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいるりんくkids		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストの先生が常勤で配置されている。	専門的支援で言語療法や音楽療法を行っている。	個別支援をメインに行っていますが、音楽療法とのセッションも行きより支援を行う。
2	ボルタリングやトランポリン、バランスストーンなどを使い運動療育を行える。	プログラムの固定化においてマンネリ化にならないようにプログラムの充実を図っている。	お子さんの特性に合わせて療育を行うことは前提に今後も療育のマンネリ化にならないように新しいプログラムの立案を行う。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さについて	基準通りの広さは確保しているがお子さんや指導員が増えることにより手狭に感じる。	隣の空き部屋を活用し活動スペースの確保を行います。
2	父母の会や保護者会、ペアトレ等の支援について	ご要望等が今まででなく行ってこなかった。	ご要望があれば開催を企画し支援もを行います。また好評であった保護者さんも参加できる季節のイベント等も企画し参加を促します。
3	法定研修以外の研修も導員に受けられる体制を設ける。	人員確保の難しさ。	新しい人材確保に向けた取り組みを行う。多機能型の施設の為に配置も考えながら流動的に行いたいです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すまいるりんくkids					公表日	2025 年 12 月 8 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	法定通り整備しています。	職員が増えることにより広いスペースがあればより快適です。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切に配置をしている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	分かりやすい構造になっている。玄関の上がり以外はフラットになっている。	他害があるかもしれない念頭に置き見守る必要がある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	療育終了後、清掃を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	言語訓練や個別療育・集団療育とプログラムによって部屋を替えています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	改善等は適宜行っています。	今後はより広く職員の参画を促します。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	しっかりと機会を設けて業務改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	出てきた改善等の意見を反映させてより良い療育を行います。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者による外部評価は受けておりません。	機会がありましたら検討いたします。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修等の開催する機会を設けております。	受けてみたいという要望の研修もありますので受けていただけるように機械の確保に努めます		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPページ等に掲載しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	面談を行いニーズや課題を踏まえて作成しております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	現場で関わるスタッフにも意見を聞きながら作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	お子さんごとに支援計画をまとめてあり閲覧が可能。全スタッフに共有が出来るように声掛けを行います。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	ソフトを利用して対応しています。入力に限られた職員で行っています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援内容を精査して保護者さんに同意を得てから支援を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	プログラム作成は支援に関わるスタッフで行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	屋内活動だけではなく、イベントや外活動も取り入れながらプログラムを行っています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	お子さんの特性とニーズを踏まえたうえで個別と集団活動を使い分けて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	その日の療育に関してミーティングを行い支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	原則その日に行っています。	必ずではなくトラブルあった際対応業務がある為に後日になることがあります。しっかりと共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	提供記録とは別にST時の様子なども記録に残して支援に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	適宜行い、必要な支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	必要に応じて関係機関と連携し会議にも参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	連携を行い会議にも参加しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	法人設立一年目で移行に関して連携が出来ていません。	必要に応じて情報共有を行います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	現状、密に連携は取っていません。相談員さんとはお子さんの連携で情報共有を行っています。	機会がありましたら検討いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	現状、交流の機会はありません。	そういった機会等がありましたら参加検討をいたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に話す機会を設けており、対面で難しい場合は電話やLINEを使い分けて共通理解を深めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	メインでペアトレは行っていません。	ご要望があればご相談を受け付けます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約前や見学時にご説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	しっかりと保護者さんからお話を聞きニーズを踏まえた支援計画を作成するように心掛けています。面談等も随時行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	支援を始める前に保護者さんに説明をし納得していただいてからサインをいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	ご相談いただくことについては管理者にも共有し助言を行い必要に応じて面談も行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	メインの行事としては行っていません。イベントの内容によっては保護者さんも参加いただきその場で交流をしていただけるように取り組んでいます。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	管理者に報告し相談があった場合は直ぐに対応が出来るように体制を敷いています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	インスタやYouTubeで療育の様子などお伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きのキャビネットで保管し、不要な情報はシュレッターで破棄し漏洩にも気を付けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	わかりやすい説明を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	現状地域の方を招いたイベントを行っています。	今後は地域の方にも参加いただけるようなイベントが出来ないか検討いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3	マニュアルを作成しています。また法定通り訓練も実施しています。	訓練の日によりリアルタイムに参加が出来ない職員がいるためにスケジュールを調整し行います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3	マニュアルを作成しています。また法定通り訓練も実施しています。	訓練の日によりリアルタイムに参加が出来ない職員がいるためにスケジュールを調整し行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約前に事前に保護者さんに確認を行い対応しています。 てんかん発作時の研修も行います。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	指示書等はありませんがアレルギー対応のお菓子の提供を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3	作成し訓練や研修を行っています。	訓練の日により、リアルタイムに参加が出来ない職員がいるためにスケジュールを調整し行います。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約前に保護者さんに説明を行い同意を得ている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	作成して再発防止に向けて会議を行い共有をしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	動画研修も用いて日々の業務の振り返りが出来るように対応しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	グループ会社でも組織的に研修を行い保護者さんにもご説明を行い支援している。		